



< 9月号 >

朝三中だより

朝霞市立朝霞第三中学校
令和元年 8月 29日発行

〒351-0023

朝霞市溝沼 1043-1

TEL 048 (464) 7575

FAX 048 (460) 2280

<目指す学校像> 一人一人が輝き 感動と笑顔あふれる学校

登山で出会った父親の言葉

校長 九鬼 武



40日間の暑く、長い夏休みも終わりました。学総地区大会を勝ち抜き県大会に出場した部の生徒たちは、夏休みの間、朝霞地区の代表として最後までよく頑張ってくれました。吹奏楽コンクール県大会に出場した吹奏楽部は、見事に金賞を受賞し、今年も西関東大会への出場を決めてくれました。また、彩夏祭では、有志80名程で構成した鳴子「みつばち」が、3年生のリーダーを中心に、5月から練習してきた演舞を躍動感あふれる姿で披露し、沿道の方々から多くの拍手を頂きました。10, 11, 12組の生徒たちも、フライングディスクの全国大会に出場し、活躍してくれました。

それぞれのご家庭におかれましても、夏休みならではの過ごし方をされたことと思いますが、私はこの夏休み中に、日本百名山の一つで、群馬と新潟の県境にある谷川岳を登山しました。もっとも、途中までロープウェイで登り、そこから頂上までの道のりを往復する初心者向けのコースでしたが、登りの途中で一休みしていると、一組の親子が下ってきました。父親と小学校高学年と中学年くらいの兄妹の3人でしたが、その親子の会話がとても微笑ましかったので紹介します。

父：「ほら、向こうに見えるあの尖っている所が頂上だよ。さっきあそこまで行ったんだよ。ずいぶん歩いてきたね。すごいね。これだけ歩いて来たんだから自信を持っていいんだよ。この後下りが続くけど、登る時よりも下る時の方が滑ったりして危ないんだ。下りは楽そうに思われるけど、下りが大変だというのは登った人でなければ分からないんだ。」

火照った顔に汗を浮かべていた二人の兄妹は、父親の言葉を聞きながら、今まで来た道を振り返って大きく一呼吸した後、これから下っていく道をしっかりと見つめ、歩いて行きました。

この父親は、おそらく、我が子を大自然という人の力を超えた大きな環境の中で、一步一步自分の力で前に進んでいくことの大切さ。自分がやっていることに自信を持つこと。簡単そうに思えることにも気を抜かないこと・・・等々を、子供たちに体験を通して感じさせ、たくましく成長して欲しいと思っていたのだと思います。父親はその気持ちを、登山を体験させながら、自然な言葉で子供たちに伝えており、素晴らしいなと思いました。

本日から2学期が始まりますが、本校の生徒たちにも、1学期を振り返り、体育大会で全力を出し切ったこと。新しい学級の仲間が一致団結したこと。分からないことが勉強して分かるようになったことや、出来なかったことが練習して出来るようになったことなど、多くの成長した自分の姿に自信を持たせ、2学期に行われる合唱コンクール、修学旅行、新人戦、進路学習や、日々の学年、学級で行う様々な教育活動の中で、一つ一つ着実に生徒たちの持てる力を発揮させ、自信を持たせながら、一層たくましく成長できるよう指導してまいりたいと思います。